

第10回 名古屋市アジア競技大会推進本部会議

次 第

日にち：平成30年6月15日（金）

場 所：本庁舎2階 特別会議室

○ 開 会

○ 議 題

1 レガシー・ビジョン（仮称）骨子案について

レガシー・ビジョン（仮称）骨子（案）

まちの姿1 健康・地域活力

スポーツにより、市民が健康に暮らし、地域の活動が盛んになることで、活力ある都市になっている

アジア競技大会を契機に、スポーツへの関心がより高まり、年齢、性別、障害の有無等に関わらず、誰もがスポーツを身近に感じられるとともに、子どもの体力向上と市民の健康が増進され健康長寿が実現したまちとなります。

また、スポーツ大会、トップアスリートとの交流や各種イベントなどが活発に行われることにより、地域が活性化され活力に満ちたまちを実現します。

さらには、アジア競技大会を契機としてボランティア活動への参加意欲が高まり、子どもから高齢者まで地域社会への貢献が定着しています。

まちの姿3 学び・国際理解

大会で、アジアをはじめとした諸外国との交流や理解が深まることで、豊かな国際感覚を備えたひらかれた都市になっている

アジア競技大会を契機に、スポーツや文化など幅広い分野で日本人市民と外国人市民の交流が活性化され市民の多様な価値観と国際感覚が養われるなど、すべての市民が暮らしやすい多文化共生都市を実現します。

また、将来を担う若者たちが、国際的な感覚と世界に挑戦する意欲を高め、国際社会に貢献できるグローバル人材を輩出するまちを実現します。

まちの姿2 誇り・魅力

スポーツにより、都市のブランドが確立することで、にぎわいあふれ市民が誇りをもてる都市になっている

オリンピックに次ぐ大規模スポーツイベントであるアジア競技大会を開催したことが市民の誇りとなっているとともに、継続的な大規模スポーツ大会の誘致やトップアスリートの輩出につながり、スポーツが新たな都市ブランドのひとつとして国内外から認識されているまちとなります。

アジア競技大会の開催を契機に名古屋の魅力が国内外に発信されることにより、本市への来訪を目的とした旅行者が年々増加し、まちがにぎわいにあふれています。また、同大会を契機としてホスピタリティへの意識が向上し、来訪者へのおもてなしが充実したまちを実現します。

まちの姿4 大会モデル・先端技術

大会で活用した選手村や競技施設、先端技術などが、大会モデルとして未来に引き継がれることで、持続可能な都市になっている

アジア競技大会で活用する選手村や競技施設が、大会終了後もまちづくりやにぎわいの拠点となるなど、社会課題に対応した整備を進めます。

また、大会で活用された新技術が産業や社会生活に広く普及されるとともに、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化が推進され、強い産業力に加え環境にも配慮されたまちを実現します。

こうした取り組みが大会モデルとして未来へ引き継がれ、持続可能なまちを実現します。